

【概要】

2017年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第2回)

I 調査の概要

今後5年以内に住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定がある方を対象に、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動などについて、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

(参考) 調査時期:2018年4月10日～4月16日、回答数:1,500件

II 調査結果の主なポイント

※< >は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用予定の金利タイプは、「固定期間選択型」の希望割合が減り、「全期間固定型」「変動型」の希望割合が増加 <p. 2>

- ・「変動型」28.1%(前回調査 27.2%)に増加
- ・「固定期間選択型」35.7%(同 37.5%)に減少
- ・「全期間固定型」36.2%(同 35.3%)に増加

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、「ほとんど変わらない」が減少、「現状よりも上昇する」が増加 <p. 3>

- ・全体では、「ほとんど変わらない」が36.8%(前回調査 43.2%)に減少、「現状よりも上昇する」が34.7%(同 30.1%)に増加、これらは各金利タイプに共通した傾向
- ・金利タイプによる相違点としては、「変動型」「固定期間選択型」では「現状よりも低下する」や「見当がつかない」が増加、「全期間固定型」では「現状よりも低下」が減少

3 住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が4割 <p. 5、p. 6>

- ・今(今後1年程度)の住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が40.9%(前回調査 41.2%)、「買い時だと思わない」が18.7%(同 19.3%)
- ・買い時だと思う理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が76.2%(同 76.9%)と多く、これに次ぐ「消費税率引上げ前だから」が49.0%(同 45.0%)に増加